

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
新潟工科専門学校		平成5年12月6日		仁多見 透		〒950-0932 新潟市中央区長潟2-1-4 (電話) 025-287-3911			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人 国際総合学園		昭和32年10月22日		理事長 池田 弘		〒951-8065 新潟市中央区東堀通一番町494番地3 (電話) 025-210-8565			
目的	測量・土木技術を通じて都市計画や公共事業など大規模な仕事で活躍できる技術者の育成と環境保全に配慮できる専門知識の習得や未来の生活環境・国土を支える技術者の育成を目的としている。								
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士		
工業	工業専門課程		環境測量科		平成19年文部科学省 告示第20号		-		
修業年限	昼夜	総授業時数		講義	演習	実習	実験	実技	
2	年 昼間	1728		1136	0	592	0	0	
単位時間									
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数	
60		33		4		2		6	
学期制度		■前期: 4月1日から9月30日 ■後期: 10月1日から3月31日			成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 100点満点換算で、A(100~80)、B(79~70)、C(69~60)、D(60未満)、期末考査・提出課題・授業態度により評価		
長期休み		■夏 季: 3週間 ■冬 季: 2週間 ■春 季: 2週間			卒業・進級条件		100点満点換算で、A(100~80)、B(79~70)、C(69~60)、D(60未満)、期末考査・提出課題・授業態度により評価		
生徒指導		■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 定期的に状況確認、また、その状況に合わせ指導・アドバイスを行う			課外活動		■課外活動の種類 各種ボランティア、地域活性化のための活動 ■サークル活動: 無		
就職等の状況		■主な就職先、業界等 測量設計業、建設業他 ■就職率 <sup>※1</sup> : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 91.7% ■その他 (平成 27 年度卒業者に関する 平成28年5月1日 時点の情報)			主な資格・検定等		2級ビオトープ施工管理士 2級土木施工管理技術検定(学科) 2級造園もしくは 管工事施工管理技術検定(学科)		
中途退学の現状		■中途退学者 3名 ■中退率 7% 平成27年4月1日 在学者 43名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 40名 (平成28年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 学校生活・学業不適應 ■中退防止のための取組 担任制・スクールカウンセリング体制の採用							
ホームページ		URL: <a href="http://www.nit-web.net">http://www.nit-web.net</a>							

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針を次のとおりとする。

1. 環境測量科は「安全で安心な社会基盤づくりの技術者をを目指す」をコンセプトとして掲げている。その為、あらゆる方面からの有識者、技術者の参画を基本として組織する。
2. 企業や業界団体からは環境測量科の特性から次の分野からの参画を図る。
  - ◆測量設計業の発展と技術向上を目指す業界団体(新潟県測量設計業協会)
  - ◆デジタル航空写真測量を核に、幅広く高品質な空間情報・GISソリューションを展開する県内を代表する測量企業(ナカノアイシステム)
  - ◆最新の測量機・測量システム・環境防災機器を提供する企業(金井度量衡)
3. 環境測量科の目指す人材像、目標資格、カリキュラムの相互理解に努める。
  - ◆環境測量科は高度な測量技術と土木技術で建設業界の第一人者を目指すことへの理解。
  - ◆環境測量科で取得すべき技術・資格を理解。
  - ◆環境測量科のカリキュラム内容を理解。
4. 環境測量科の目指す人材像を理解すると共に、各分野の専門企業・団体の立場から現在及び将来求められている職業人としての資質をカリキュラム編成に反映する。
5. 学校はそのカリキュラム編成としての意見を集約し改善する。

以上

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月30日現在現在

名 前	所 属
仁多見 透	新潟工科専門学校 教務部
細海 幹人	新潟工科専門学校 教務部
池田 保紀	新潟工科専門学校 事務局
土田 正敏	新潟工科専門学校 教務部
古川 征夫	(社)新潟県測量設計業協会
長崎 清	(株)ナカノアイシステム
平田 俊之	金井度量衡(株)

(開催日時)

平成27年度開催状況

第1回 平成27年8月6日 10:00~12:00

第2回 平成27年9月11日 10:00~12:00

2. 主な実習・演習等		
(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)		
教育課程編成委員会の意見をもとに改善されたカリキュラムで、その分野で現在活動している専門技術者を有する企業から派遣された講師により直接指導を受ける。それにより、最先端の技術を身に付け、社会が求めている職業人としての能力と人間力を修得することを基本方針とし、以下の手順で連携を進めていく。		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 企業から派遣された知識・技術・経験を有する専門技術者が指導にあたる。</li> <li>2. 学校の教育方針と社会のニーズを明確にし、授業内容を検討する。</li> <li>3. 授業開始前にシラバスを作成し、学生に伝達する。</li> <li>4. 学生の個々のニーズ(学生が目指す職種)に応じた指導を心がける。</li> <li>5. 評価について、担当専任教員と協議し学生へフィードバックする。</li> <li>6. 評価をもとに学生に対しアドバイスをすることで今後の学修に繋げる。</li> <li>7. 結果を分析し、教育課程編成委員会へフィードバックし、カリキュラム編成に役立てる。</li> </ol>		
科目名	科目概要	連携企業等
汎地球測位システム測量実習	金井度量衡(株)より専門技術者が来校し、GNSS測量機を初期設定の段階から学生に操作方法等の指導を行う。	金井度量衡 株式会社
応用測量実習	サープラックス(株)の専門技術者の指導で、小型ボートに乗船し音響測深器の操作方法の指導を受けながら実習を行う。	サープラックス 株式会社
3. 教員の研修等		
(教員の研修等の基本方針)		
教員(専任教員、兼任教員)は常に企業等と連携し、専門分野における最新の知識と技術の習得に向けて次のようなことを基本方針とする。		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年度が始まる前に身に付けたい知識・技術など以下の項目から目標設定する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆測量技術(測量士)</li> <li>◆測量機器操作技術(各種測量機器、GPS、GNSS)</li> <li>◆土木施工管理技術(土木施工管理技士)</li> <li>◆環境保全技術(ビオトープ)</li> <li>◆建設機械操作技術(バックホー、移動式クレーン)</li> <li>◆学校運営における基本的知識(学生指導、人材育成、経営意識など)</li> </ul> </li> <li>2. 事前に年間行われる研修・セミナーなどの調査を行う。</li> <li>3. 研修・セミナー受講スケジュールを計画する。(計画については教務部に提出)</li> <li>4. 研修・セミナー受講後は学生指導、学科運営にどのように活かせるか検討する。</li> <li>5. 研修・セミナーで得た知識や情報を他の教員と共有し学校全体での学生指導に活かす。</li> </ol>		
4. 学校関係者評価		
(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)		
平成27年9月30日現在		
名前	所 属	
名前	所 属	
小倉 睦巳	(株)国際総合計画	
荻荘 賢一	(株)荻荘電機	
平田 俊之	金井度量衡(株)	
油井 康二	(株)めだかの学校	
近藤 一彦	(株)イートラスト	
(学校関係者評価結果の公表方法)		
URL: <a href="http://www.nit-web.net">http://www.nit-web.net</a>		

## 5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ、学生の手引き、パンフレット、募集要項、求人のための学校案内、オリエンテーション資料、キャンパス周辺ガイド、各種奨学金制度・教育ローンのご案内、学生寮アパートガイド、  
URL: <http://www.nit-web.net>

授業科目等の概要

(工業専門課程環境測量科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			測量に関する法規	測量法、公共測量作業規程等の関係法規	1前	32		○			○			○	
○			測量学概論	測量の歴史、地球の形状、気象、測量の計画・管理、最新の測量技術、重力、地磁気	1前	48		○			○			○	
○			測量に関する数学	平面及び球面三角法、微分、解析幾何、統計、行列、数値計算法、最小二乗法	1通	128		○			○			○	
○			測量に関する情報処理	情報処理基礎、Excel、CALS/EC	1前	16		○			○				○
○			基準点測量Ⅰ	トータルステーションの基礎、選点、観測、平均計算、成果表・記録の調整、GNSS測量	1後	64		○			○			○	
○			基準点測量Ⅱ	多角測量の基礎、選点、観測、平均計算、成果表・記録の調整	2前	64		○			○			○	
○			水準測量	基礎理論、測量機器、観測、計算、平均計算、成果表、記録の調整	1前	32		○			○			○	
○			地形測量	基礎理論、測量機器、平板測量、細部測量、数値地形測量	2前	64		○			○			○	
○			写真測量	基礎理論、測量機器、標定点測量、撮影、空中三角測量、図化、数値図化、リモートセンシング、航空レーザー測量	1後	64		○			○			○	○
○			地図編集	基礎理論、編集機器、図式、地理情報システム(GIS)、地図投影、地図編集、CADによる地図製図	2後	48		○			○			○	
○			応用測量	路線測量、用地測量、河川測量	2後	64		○			○			○	
○			応用力学	応用力学の基礎、はりの計算、部材断面の性質、はりの応力度と設計、柱	1後	32		○			○				○
○			水理学	水の性質及び次元、静水圧、水の運動、管路、開水路、オリフィス・せき・ゲート、地中の水理学	1前	32		○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			土質工学	土の生成と調査試験、土の基本的な性質、土の圧密、土の強さ、土圧、地盤の支持力、斜面の安定	2前	32		○			○			○		
○			環境工学	地球環境、水収支、大気、酸性雨、砂漠化、人口問題、産業廃棄物、建設リサイクル、地下水地盤、騒音振動など	1前	32		○			○				○	
○			土木材料学	土木材料の概要・性質、コンクリート、鉄鋼、瀝青材料、木材、石材、新素材・新材料	1前	32		○			○				○	
○			建設工学概論	地質、コンクリート、交通と空港、道路工学、鉄道工学、河川工学、ダムと発電、上下水道工学、造園概論、設備概論	1前	96		○			○				○	
○			施工管理学	施工理論及び手法、工程計画、品質管理、原価管理、安全管理	2通	96		○			○			○		
○			設計計画	構造計算、設計、計画及びデザインについて具体例に基づき講義演習	2後	64		○			○				○	
○			建設機械	建設機械の基礎的な知識、原動機、電気装置、油圧装置、整地掘削積込み機械、力学および電気の知識、ブレーカ等	2前	16		○			○				○	
○			測量に関する情報処理実習	情報処理基礎、Excel、CALS/EC	1後	48					○	○			○	
○			基準点測量実習Ⅰ	トータルステーションの基礎、選点、観測、平均計算、成果表・記録の調整、GNSS測量	1後	64					○	○	○	○	○	○
○			基準点測量実習Ⅱ	多角測量の基礎、選点、観測、平均計算、成果表・記録の調整	2前	64					○	○	○	○		
○			水準測量実習	基礎理論、測量機器、観測、計算、平均計算、成果表、記録の調整	1前	32					○	○	○	○		
○			地形測量実習	基礎理論、測量機器、平板測量、細部測量、数値地形測量	2前	64					○	○	○	○		
○			写真測量実習	基礎理論、測量機器、標定点測量、撮影、空中三角測量、図化、数値図化、リモートセンシング、航空レーザー測量	1後	64					○	○	○	○	○	
○			地図編集実習	基礎理論、編集機器、図式、地理情報システム(GIS)、地図投影、地図編集、CADによる地図製図	2後	48					○	○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			応用測量実習	路線測量、用地測量、河川測量	2後	64				○	○	○	○	○	○
○			CAD実習	WINDOWS上で動くCADソフトを利用した製図実習	2通	96				○	○		○		
○			施工実習	施工実習、現場見学、工事の流れ、現場事務所、工程表、工事契約書、土木と法律、工事に関する資格	2後	48				○	○	○	○		
○			就職実務	業種・職種について、求人票の見方、履歴書の書き方、面接の仕方、プレゼンテーション技法、一般教養など	1 2通	80			○		○		○		
合計						31 科目		1728 単位時間(単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1 学年の学期区分	2 学期
	1 学期の授業期間	16 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。